

シカ被害対策技術交流会の開催

近年深刻化しているシカ被害対策及びジビエ活用に取り組んでいる方々をお招きし、シカ被害対策技術交流会を開催します。

1 概要

近年、近畿中国地域では、ニホンシカ（以下「シカ」という。）の個体数の増加と分布域の拡大が著しくなっており、森林被害の防止等対策を講じる上で、国・府県・市町村・猟友会・研究機関等関係者が連携し、地域の実情に応じた被害対策を講じることが重要となっています。

また、被害防止対策の一環として捕獲した鳥獣を地域資源として有効活用する観点から、国では、地域における捕獲鳥獣の食肉処理加工施設の整備を支援しているところですが、施設の安定的な運営のためには、安全性の確保、安定供給、販路の確保等が課題となっています。

このことから、シカ被害対策やジビエ活用に詳しい関係機関等が有する技術、取組事例を農業・林業を問わず幅広く紹介いただき、それぞれの知見を共有し、一層のシカ被害対策及びジビエ活用の推進の一助になることを目的として「シカ被害対策技術交流会」を開催することとしました。

2 開催日時及び場所

- (1) 日時：平成30年3月6日（火） 10:00～16:00
- (2) 場所：大阪市北区天満橋1丁目8番75号
近畿中国森林管理局 4階 大会議室

3 議題

- (1) 基調講演（講演者、講演題目は別紙のとおり。）
- (2) 講演・情報提供（講演者、講演題目は別紙のとおり。）
- (3) 総合討論

4 共催・協力

共催：（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
環境省 近畿地方環境事務所
林野庁 近畿中国森林管理局
協力：農林水産省 近畿農政局



5 その他

- (1) 本技術交流会は、一般の方も傍聴可能です。
- (2) 傍聴を希望される場合は、会場準備の都合上、2月28日（水）17時までに下記担当者あて事前に参加人数をご連絡願います。（当日参加も可能）



【お問い合わせ先】

林野庁 近畿中国森林管理局
計画保全部 保全課
野生鳥獣管理指導官 淵上（ふちがみ）
電話：06-6881-3443
E-mail：h_fuchigami640@maff.go.jp

【別紙】

講演者及びスケジュール

- | | | | |
|---|------|--|---------------------------------------|
| 1 | 開会挨拶 | 近畿中国森林管理局長 | (10:00 ~ 10:05) |
| 2 | 基調講演 | 題目：ニホンシカの管理の課題
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所
野生動物研究領域長 岡 輝樹 | (10:05 ~ 11:00) |
| 3 | 講演 | 【第1部：森林生態系の保護】
①島根県の中国山地で増えつつあるニホンシカの生息、被害実態と今後の取組
島根県中山間地域研究センター
研究調査監 金森 弘樹 | (11:00 ~ 11:25)
討論 (11:25 ~ 11:35) |
| | | 【第2部：個体数調整】
②ニホンシカ捕獲の現状と手法
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
主任研究員 八代田 千鶴 | (11:35 ~ 12:00) |
| | | 【昼食】 12:00 ~ 13:00 | |
| | | ③箕面国有林におけるシカ生息状況 ～学官民の連携によるモニタリング調査～
地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
研究員 幸田 良介 | (13:00 ~ 13:25)
討論 (13:25 ~ 13:35) |
| | | 【第3部：シビエ利用】
④シビエ利活用を巡る最近の状況
近畿農政局 農村振興部農村環境課
課長 前園 博幸 | (13:35 ~ 14:00) |
| | | ⑤狩猟から見る食のあり方
NPO 法人いのちの里京都村
事務局長 林 利栄子 | (14:00 ~ 14:25)
討論 (14:25 ~ 14:35) |
| | | 【休憩】 14:35 ~ 14:50 | |
| 4 | 情報提供 | ①シカによる緑化被害の対策
和歌山森林管理署
治山技術官 小林 正典 | (14:50 ~ 15:10) |
| | | ②外来生物対策の変遷と考え方
近畿地方環境事務所 野生生物課
希少生物係長 北井 正彦 | (15:10 ~ 15:20) |
| | | ③DVD の紹介等
近畿中国森林管理局 | (15:20 ~ 15:30) |
| 5 | 総合討論 | | (15:30 ~ 15:55) |
| 6 | 閉会 | (国研) 森林研究・整備機構
森林総合研究所関西支所長 | (15:55 ~ 16:00) |